

<個別案件確認表（組織委員会）>

組織委員会担当確認年月日 2018年12月18日

東京都作業部会確認年月日 2019年1月23日

事業名 通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）

案件名 警備用ネットワーク関連業務委託（詳細設計）について

確認の視点	組織委員会の見解	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> 大枠合意に基づき、本件については、組織委員会・国・都が分担することとなっている。 	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> 本件は、組織委員会が通信サービス分野のパートナー企業である NTT との間で締結した電気通信供給契約に係るものであり、NTT から提供される電気通信パッケージの通信品質を担保するために必要な業務である。 組織委員会は、NTT との間で、電気通信パッケージの一部であるデータネットワークの基本設計、詳細設計及びその中の警備用ネットワークの基本設計を契約済みであり、本件は、それらを基に詳細設計業務を行うものである。 以上により、各種業務の重複排除等コストの低減による経済合理性の達成及び一貫した手続・運用による業務の実効性・安定性の確保等を通じ、当該事業における全体最適性を担保すべきとの見地からは、引続き、組織委員会にて、一括して執行することが効率的かつ効果的であると考えます。 	

<p>経費の内容等 が必要性(必要な内容、機能かなど)、効率性(適正な規模、単価かなど)、納得性(類似のものと比較して相応かなど)等の観点から妥当なものであること</p>	<p>必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大会における通信環境の整備については、開催都市契約運用要件において定められており、適切な通信環境整備のために大会用データネットワークを構築する業務は必須である。 ・ 大会用データネットワークは、競技運営に必要なシステムや様々なステークホルダの業務に関わるネットワーク環境を提供するものであり、大会運営には必須である。 ・ 警備システムは、撮影によるベニュー等の状況把握等を可能にし、限られた人的資源の中で、事案発生の未然防止及び事案発生時の早期対応を実現し、円滑な大会運営を実施するために構築されるものである。 ・ 本件は、各ベニューに構築される警備システムを広域 WAN で繋ぎ、センタ拠点 (GSCC、MOC) から各ベニューに設置されたカメラ映像等をリアルタイムに把握するために必要な警備用ネットワークを設計するものであり、大会運営のために必要な業務である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ HCC-OR TEC 03,04 ・ OGG TEC 3.1.7.
---	------------	---	--

	効率性	<ul style="list-style-type: none"> 基本設計を実施した通信サービス分野のパートナー企業に一括して委託することが最も効率的である。 単金については、基本設計と同等まで抑制されていることを確認し、組織委員会として妥当であると判断した。 詳細設計業務の作業工数についても、各工程の明細単位での精査を実施し、組織委員会として検討協議を重ねた結果、工数削減によるコスト低減を実現することができたことから、妥当であると判断した。 本ネットワークは、大会用ネットワーク基盤と共有することにより、組織委員会としてのコスト低減を行うものである。 本件契約予定額については、V3 予算の「通信インフラ」事業の枠内に収まっている。 	
	納得性	<ul style="list-style-type: none"> 本件は、通信サービス提供を責務とする通信サービス分野のパートナー企業に対する指定調達となる。 電気通信供給契約において、組織委員会と通信サービス分野のパートナー企業は、電気通信パッケージの提供に関し、最低価格によるサービスの提供、サービスレベルの維持、平時の事業以上の業務品質によるサービスの提供、要員の要求事項の遵守等について合意をしている。 	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること		<ul style="list-style-type: none"> 本件は、平成 29 年 5 月 31 日の合意に基づき、公費負担の対象としているものであり、適切である。 	

*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

<個別案件確認表（組織委員会）>

組織委員会担当確認年月日 2019年1月9日

東京都作業部会確認年月日 2019年1月23日

事業名 通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）

案件名 警備用ネットワーク関連業務委託（詳細設計）に必要な機器調達について

確認の視点	組織委員会の見解	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> 大枠合意に基づき、本件については、組織委員会・国・都が分担することとなっている。 	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> 大枠の合意においては、経費分担に関わらず、組織委員会がテクノロジーのインフラ整備をする役割を担っている。 組織委員会は、大会においてテクノロジーサービスの提供及び運営に関する責任を持ち、IOC、パートナー企業及び各 FA など、多くの関係者と調整、協力しながら整備を進めている。 本件は、7 月に調達したデータネットワークの基本設計に基づいた機器に加え、その後実施している CCTV 基本設計に基づいて、CCTV 詳細設計業務に必要な機器を追加調達するものである。 	
経費の内容等 が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似の	<ul style="list-style-type: none"> 大会における通信環境の整備については、開催都市契約運用要件において定められており整備のための発注は必須である。 机上で行った詳細設計の妥当性を判断するために、実際の機器を用いて検証を行うことが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> HCC-OR TEC 03,04 OGG TEC 3.1.7.

ものと比較して相応かなど)等の観点から妥当なものであること	効率性	<ul style="list-style-type: none"> 本件は、検証用および移行期間中の機器調達を行うものであるが、それらの機器は本番環境に転用することとしている。 費用については標準価格およびリース価格に加え過去発注した実績との比較を行い、効率性を判断した。 本件契約予定額については、V3 予算の「通信インフラ」事業の枠内に収まっている。 	
	納得性	<ul style="list-style-type: none"> 本件は、通信機器の提供を責務とする機器パートナーに対する指定調達となる。 パートナーが示す提供価格は、組織委員会が過去に供給先から調達した際におけるシステム関係の物品の値引き率の実績と同等以下であることを確認している。 	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること		<ul style="list-style-type: none"> 本件は、平成 29 年 5 月 31 日の合意に基づき、公費負担の対象としているものであり、適切である。 	

*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。